

優秀実践校、優秀図書館及び団体(個人)表彰推薦書(学校・図書館・団体用)

【学 校・図書館・団 体】

令和 4 年 11 月 18 日
都道府県名 滋賀県

*様式は変更しないでください。

①学校(図書館及び団体)名		②設立年月 明治26年(1893年)4月		
ふりがな りっとうしりつはやましようがっこう 栗東市立葉山小学校				
③校長(館長及び代表者)名	④学校等の規模	職員数	学級数	児童・生徒数
ふりがな いけだ たかし 校長 池田 隆				
		31	21学級	429人
⑤学校(図書館及び団体)の所在地・連絡先 ・所在地:〒520-3045 滋賀県栗東市高野310 ・電話番号:077(552)0018 ・メールアドレス:s-hayama@ritto.ed.jp				
⑥都道府県又は都道府県教育委員会の推薦理由 コロナ禍においてこれまで行ってきた読み聞かせなど図書ボランティアの活動が難しい中で、児童の読書意欲を高める取り組みをより充実しようと、司書教諭や学校司書を中心として、取り組みを行ってきた。市立図書館との連携をはじめ時期に応じたおすすめの本の紹介や図書の掲示、司書教諭によるブックトーク、出張図書室、読書通帳の活用など、日常的に取り組みを進めている。 また、図書委員会の活動を活性化し、児童による本の読み聞かせや本のスタンプラリー等、児童の主体的な啓発活動によって独自の取り組みを進めたり、全校朝読書の時間を設けたりする等学校全体で取り組みを進めている。				
⑦子供の読書を推進する活動の実践内容等(出来るだけ具体的に記入してください) (7)活動内容, (1)実践開始時期, (2)活動体制, (3)活動の効果, (4)その他特記事項 (複数ある場合は箇条書きにしてください)				
(7)活動内容 教育課程全体と関連付けた年間指導計画を毎年見直し改善しながら、学校図書館の活動や読書活動の推進を行っている。令和元年度には、地域の方からの寄付による大規模なリニューアルを行い、図書ボランティア「あいあい」をはじめとする地域の方とともに、より児童が使いやすい図書館となった。その後も司書教諭及び学校司書を中心とした体制の下、多様な読書活動を行ったり、国語科・社会科・総合科等の調べ学習を促進するための本を提案したりしている。加えて、読書通帳の活用や掲示物の工夫を行うことで、図書室への来室の増加や貸し出し数の増加につながっている。また、委員会の児童が下学年児童に読み聞かせを行ったり、おすすめの本を紹介したりするなど積極的な取り組みを行っている。				
(1)実践開始時期 平成30年以前より、司書教諭と地域の図書ボランティア「あいあい」が連携し、朝の読み聞かせや図書室の環境整備を行ってきた。さらに、令和元年度からは図書館司書とも連携を行い、多様な読書活動や調べ学習の促進に力を入れている。				
(2)活動体制 本校には、令和4年5月1日現在、校内に司書教諭の資格を持つ者が3人いるほか、半年間(4~9月)、週に一度、学校司書が配置されており、児童の学校図書館の活用や読書活動の推進を行っている。また、栗東市立図書館による一年生向けの読み聞かせ会や図書館の利用の仕方についてのオリエンテーションの時間を毎年設けている。令和2年度から現在はコロナ対策により一時的に活動は休止しているが、地域ボランティア「あいあい」による読み聞かせや学校図書館の環境整備も行われてきた。				
(3)活動の効果 司書教諭や委員会による活動により、貸し出し冊数が1日に100冊を超える日もある。活動当初				

は読み聞かせや、ブックトークなどに児童が集まりにくかったが、少しずつ興味をもった児童が増えてきた。テーマごとに本を集めて紹介する「出張図書室」では、低学年から高学年まで100人以上の児童が参加することもある。

以前は、図書室で何を借りるか迷っている児童が多くいたが、紹介した本を図書室に探しに來たり、自分の興味のある本や、自分のお気に入りの本を友達に紹介したりする姿が見られるようになった。

(オ) その他特記事項

●取り組み内容

(1) 全校朝読書

4月からゴールデンウィークの1か月間と、それ以降の毎週月曜日の朝15分を「読書」の時間として設定している。

(2) 読書通帳の活用

銀行の通帳に見立てた読書通帳に、読んだ本を書き貯めることで、自分の読書量を感じられるようにしている。1冊読むごとに1つスタンプが貯まるため、目で見ても子どもたちが実感できる。

(3) 司書教諭による読み聞かせやブックトーク、出張図書室

読み聞かせは、大型絵本や季節に応じた絵本の読み聞かせを行っている。ブックトークでは、普段児童が自ら手に取りにくい本にも出会うきっかけとなることをねらって、テーマに沿って選んだ本を数冊紹介している。出張図書室では、図書室とは別の部屋にテーマに沿った本を集め、児童が自由に手に取れるようにするとともに、展示本を読むと答えがわかるクイズを用意し、児童が「読んでみよう」と思えるような工夫をしている。

(4) 図書室のテーマ別展示

毎月、季節に合わせてテーマを決め、本の展示を行っている。図書室の入口に展示することで児童の目に留まりやすく、興味をもって借りている児童も多い。

(5) 掲示物の工夫

「今日のおすすめ本」として1日1冊本を紹介したり、本の帯を集めて掲示したりしている。季節に合わせてクリスマス前にはアドヴェントカレンダー風の掲示を行うなど、児童が興味をもちやすいように本の紹介をしている。

(6) 全校貸し出し数の掲示

「めざせ2020冊」と目標を決め、その日に貸し出しを行った本の冊数とそれまでの貸し出し冊数の合計を児童の昇降口前に掲示した。

⑧過去の取組実績

⑨都道府県における選考委員の職名及び氏名

⑩過去における表彰に関する事項

⑪備考（学校及び図書館の場合は、以下のことについて記載してください。）

【学 校】 (7) 学校図書館の蔵書数 7139冊

(1) 図書標準の達成率（公立小・中学校等の場合のみ）65%

(2) 電子図書：0冊、拡大図書：0冊、録音図書：0冊、点字図書：0冊